

**JENESYS2024 日本・シンガポール高校生オンライン交流**  
**JENESYS2024 日本・フィリピン大学生オンライン交流の記録**  
(テーマ：日本語、日本文化)

## 1. プログラム概要

【目的・概要】日本に強い関心を持つフィリピンの大学生とシンガポールの高校生が、オンラインによる日本についての体験や同世代との交流を通して、日本に関する理解を一層深めることにより、日本と両国間の相互理解を促進することを主目的として、プログラムに参加しました。

【参加者】フィリピンの大学生 21 名、シンガポールの高校生 15 名 合計 36 名

【訪問地】東京都 30 名、福岡県 29 名、沖縄県 25 名

### 【日程】

#### ■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

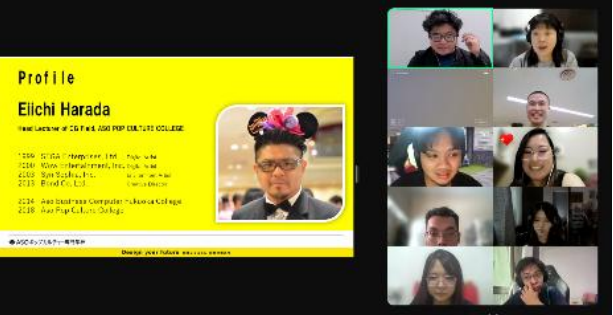
来日までの指定期間      【課題学習（動画配信）】「ホームビジット体験」「南三陸町からのメッセージ」  
「日本文化理解（京都）」「広島ピースツアー」「日本語」

#### ■ オンライン交流プログラム：

|               |                                                                   |
|---------------|-------------------------------------------------------------------|
| 10 月 1 日（火曜日） | 【オリエンテーション】<br>【日本理解講義】「日本の魅力」<br>講師：千葉大学国際未来教育基幹 教授 織田 雄一 氏      |
| 10 月 2 日（水曜日） | 【テーマ関連講義】ASO ポップカルチャー専門学校<br>講師：ASO ポップカルチャー専門学校 原田 英一 氏          |
| 10 月 3 日（木曜日） | 【学校交流】津田塾大学                                                       |
| 10 月 4 日（金曜日） | 【視察及び文化体験】小倉城及び小倉城庭園視察（茶道体験含む）                                    |
| 10 月 5 日（土曜日） | 【ホームビジット】沖縄県読谷村                                                   |
| 10 月 6 日（日曜日） | 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、<br>帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成） |
| 10 月 7 日（月曜日） | 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表                                              |

## 2. 記録写真

### オンライン交流プログラム

|                                                                                     |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |
| <p>2024 年 10 月 1 日【オリエンテーション】</p>                                                   | <p>2024 年 10 月 1 日【日本理解講義】「日本の魅力」</p>                                                |
|   |   |
| <p>2024 年 10 月 2 日【テーマ関連講義】<br/>ASO ポップカルチャー専門学校</p>                                | <p>2024 年 10 月 3 日【学校交流】<br/>津田塾大学（プレゼンテーションの様子）</p>                                 |
|  |  |
| <p>2024 年 10 月 3 日【学校交流】<br/>津田塾大学（交流の様子）</p>                                       | <p>2024 年 10 月 4 日【視察】小倉城</p>                                                        |
|  |  |
| <p>2024 年 10 月 4 日【視察】茶道実演</p>                                                      | <p>2024 年 10 月 5 日【ホームビジット】<br/>沖縄県読谷村</p>                                           |

|                                                                                   |                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |
| 2024 年 10 月 7 日【報告会】                                                              | 2024 年 10 月 7 日【報告会】記念撮影                                                           |

### 3. 参加者から寄せられた質問・関心事項（抜粋）

#### ◆ 小倉城について

- ・ 藩主は、当時の日本において、どの程度の立場にある人でしたか？
- ・ 武将隊の語り部の方がとても生き生きとして楽しそうでした。小倉城の語り部になるにはどうしたらよいですか？
- ・ お茶会は、どのような時に開催しますか？お点前を披露するには免状が必要ですか？こういった人がお客様になれますか？

### 4. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ フィリピン 大学生

小倉城と庭園の案内（武将隊）の方々にとっても感銘を受けました。彼らは皆、担当の役を熱心に生き生きと演じ、小倉城の歴史について教えてくれました。楽しそうな仕事だと思いました。私も彼らのように、人々に歴史を教えながら、人々を楽しませるような仕事ができるようになりたいと思います。

また、沖縄の読谷村のお宅に迎えていただき、ホストファミリーのお二人にお会いでき、とても楽しい時を過ごすことができました。

#### ◆ フィリピン 大学生

交流プログラムで楽しい時間を過ごしました。最も興味深かったのは最新のポップカルチャーに関するプログラムで、アニメや音楽、そしてそれらのコンテンツがどのように制作されているのかについて詳しく学ぶことができました。アニメや CG の制作者になるのは難しいことや、日本人は勤勉な国民であることは知っていましたが、講師の方から 300 時間も仕事に打ち込むこと等を伺い、その姿勢に非常に感銘を受けました。

#### ◆ シンガポール 高校生

最も興味深かったのは、津田塾大学との交流でした。彼女らの学校生活がどのようなものか、またシンガポールの学校生活とどのように異なるのかを知ることができ、大変有意義でした。また、シンガポールでは女子校は珍しいため、女子校の存在自体に少々衝撃を受けました。同年代の人たちと交流し、日本の学生生活について知ることができたことは非常によい経験になりました。

## 5. 受入れ側の感想（抜粋）

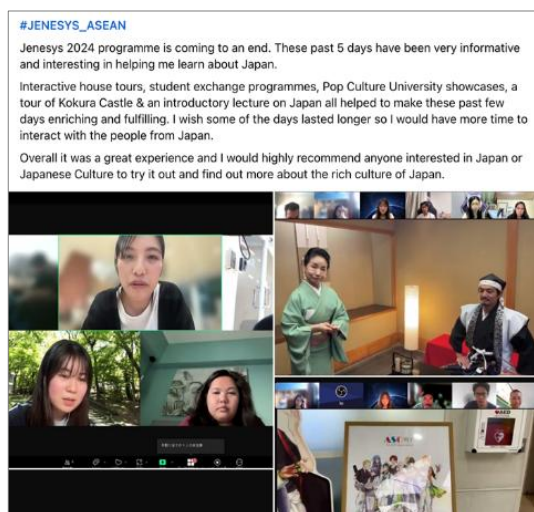
### ◆ 交流校関係者

学生の語学研鑽の意識は確実に高まり、アジア地域を身近に感じる機会になったと思います。交流会は、お互いの国の文化や有名なものを聞いて和気あいあいとした雰囲気です。1 時間が一瞬で過ぎていきました。貴重な機会をいただき大変光栄でした。今後も、今回のような国境を超えた学生同士の和やかな交流を促進していけるよう、イベントに参加、開催をしていきたいと思っています。

### ◆ 講師

画面共有中は、資料配置の関係で 4 名の顔しか見えず、どんな反応なのかドキドキしていましたが、最後のチャットで盛り上がったので安心しました。私もシンガポールとフィリピンでここまで日本のゲームやアニメ（それも結構マニアックな）が浸透しているとは思っておらず、なかなかの刺激を受けました。

## 6. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



2024 年 10 月 4 日（Facebook）

シンガポール 高校生

JENESYS 2024 のプログラムも終わりに近づいてきました。この 5 日間は日本について学ぶことができる、大変有意義で興味深いものとなりました。ホームビジット交流、学校交流、ポップカルチャー専門学校学の紹介、小倉城ツアー、日本紹介の講義など、この数日間は大変充実していました。日本の方々ともっと長く交流したいと思う日もありました。

全体的にすばらしい経験でした。日本や日本文化に興味のある方には、ぜひ参加していただきたいと思います。そして、日本の豊かな文化についてもっと知りたいと思っています。



2024 年 10 月 7 日（Instagram 等）

フィリピン 大学生

初めてオンライン文化交流プログラムに参加しました。シンガポールと日本の学生に会えて楽しかったです。

|                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                              |                                   |
| <p>2024 年 10 月 4 日 (ASO ポップカルチャー専門学校の Instagram)</p> <p>先日、一般財団法人 日本国際協力センター(JICE)が実施する、対日理解促進プログラム JENESYS で「日本のポップカルチャーについて」という内容で、日本語を学んでいる、もしくは、日本に関心のあるフィリピン、シンガポールの学生さんたちに講義をしてきました。通訳を介して約 2 時間。後半は校舎ツアーや日本のゲームやアニメの話でとても盛り上がりました。</p> | <p>2024 年 10 月 11 日 (津田塾大学の HP)</p> <p>「フィリピン・シンガポールの学生とのオンライン交流」</p> <p>外務省事業「対日理解促進交流プログラム (JENESYS)」の大学訪問受入れ</p> |

## 7. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表 (抜粋)

訪問地：東京都、福岡県、沖縄県 全 6 グループ発表

| グループ 2 (シンガポール)                                                                                                                                                                                                          |                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                       |  |
| <p>【成果の発表】</p> <p>日本理解講義では、日本の料理や、食べ物について多くのことを学びました。また、日本には多くのスポーツがあり、そのうちのいくつかは世界に広く普及していることが興味深いです。</p> <p>ASO ポップカルチャー専門学校の講義では、福岡県内だけでも、有名なゲーム会社がたくさんあることに驚きました。シンガポールにある学校のイメージとは全く違い、生徒の作品やポートフォリオがすばらしかったです。</p> |                                                                                      |

津田塾大学との交流プログラムでは、日本の学生の生活についての見識を得ることができました。日本の教育システムや、津田塾大学の学生たちの海外に対する見方が参考になりました。

小倉城の視察では、シンガポールにはない日本独自の美しい建築と景観に魅了され、読谷町のホームビジットでは、沖縄料理や三線の歴史などについて学び、日本の歴史的・文化的な側面を垣間見ることができました。

#### 【アクション・プラン】

「私たちの折り紙」

ハロウィーンやクリスマスから年末年始にかけてのホリデーシーズンに、学校や託児所にて、対面式で子どもたちに折り紙の折り方を教えて、実際に作品を作ってもらい、日本文化に触れてもらう機会を設けます。

### グループ6（フィリピン）



#### 【成果の発表】

プログラムに参加する前の日本に対する印象は、アニメ、漫画、ゲーム、寿司・刺身などの珍しい食べ物などでした。このプログラムを通して、日常生活を豊かにする新幹線、トイレ、自動販売機等がある事、学校に関してはポップカルチャーに特化した学校や女子だけの大学がある事等、フィリピンの状況と異なっている事を知りました。一方で学校交流やホームビジットを通して、違いだけではなく、似ている点も垣間見ることができました。沖縄で大切にされている言葉「いちやりばちよーでー」を教えてくださいました。一度で出会ったら皆家族だという考え方をとてもすばらしいと思いました。日本の事をもっと知りたく、またもっと伝えたいとなりました。

#### 【アクション・プラン】

「ソーシャルメディアキャンペーン・一期一会」と題し、日本紹介の活動を行います。

期間は10月第3週から第4週から12月末までとし、Facebookを主なプラットフォームとします。活動主体は当グループのメンバー5名で、対象は日本文化に関心のあるフィリピン人です。継続してさまざまな日本をテーマにしたソーシャルメディアキャンペーンを展開していく予定です。

具体的には、日本のポップカルチャー、食文化、テクノロジーなど、日本文化が自分たちの生活にどのような影響を与えているかを話し合い、毎週投稿するテーマやトピックを決定します。フィリピンの日常生活の中で日本文化と関わるちょっとしたエピソード等を紹介するブログ記事、ビデオブログ、ポッドキャストを作成します。より多くの人に見てもらえるよう、各自のソーシャルメディア（InstagramやFacebookなど）に転載し共有します。そうすることで、日本という共通の関心を持つグループと空間を作り、知識の交換の架け橋とするとともに、家族や友人が日本についてより深く学べる手助けとなれればと思っています。